

戦争資料

太平洋戦争中、都城から
よんしきせんはやて
四式戦疾風に乗って飛び
立った特攻隊員たちの遺品
や都城空襲の資料などを展
示しています。



飛行服(冬服)



都城空襲戦災区域図



慰問袋

昔の道具

資料館の最上階では、ひとむかし前まで使われていた、農作業の道具や、各家庭に使われた家庭用品などを展示しています。現在のような機械や電気のない時代に、人々が工夫をこらしていた様子がうかがえます。



歴史資料館案内図



● 交通機関

JR西都城駅から徒歩20分
都城駅からバスで10分・^{たけのしたばし}岳ノ下橋下車

利用ご案内

● 開館時間

午前9時30分から午後5時まで
(ただし、入館は午後4時30分まで)

● 休館日

毎週月曜日
(国民の祝日又は振替休日の時は翌日休館)
12月29日～1月3日

● 入館料

大人	210円(団体160円)
高校生	160円(団体100円)
小中学生	100円(団体50円)
毎週土曜日の小中学生。 障がい者の手帳をお持ちの方。 (介護者を含みます。)	無料

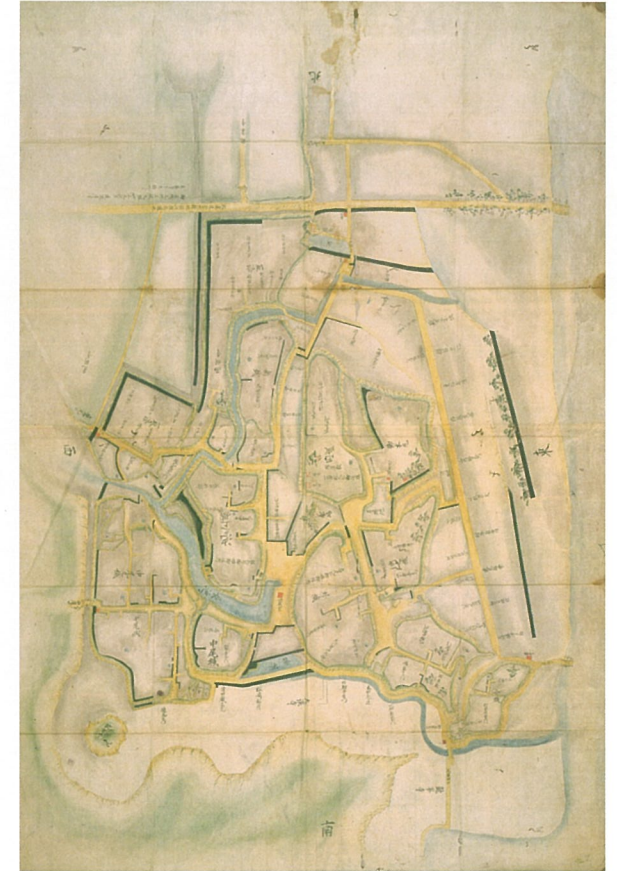
※ 団体は20名以上です。

関連施設の紹介

- 都城市高城郷土資料館 (都城市高城町大井手) 問い合わせ：0986-58-5963
- 都城市山之口麓文弥節人形浄瑠璃資料館 (都城市山之口町山之口) 問い合わせ：0986-57-5295
- 都城島津邸 (都城市早鈴町) 問い合わせ：0986-23-2116

※ 開館時間、休館日、入館料等は、それぞれの施設へお問い合わせください。

都城市都城歴史資料館



みやこのじょうこうぞう
都城古絵図

天和二年(1682)以前の作製とされるこの絵図は、現状の遺構と極めて一致し貴重なものです。現在破壊されている部分も、この絵図をもとに推定復元も可能です。

宮崎県都城市都島町 803 番地(城山公園内) 〒885-0083

TEL・FAX(0986) 25-8011

都城歴史資料館



都城歴史資料館

天守風の都城歴史資料館は、林野庁の木材の需要促進を目的とした補助事業(モデル木材施設建設事業)で建設され、平成元年10月20日に開館しました。

資料館が建つ「城山」はもともと「都城」という中世城郭で、都城島津(北郷)家第2代の北郷義久(道端)によって永和元年(1375)に築城されたといわれています。これ以降、北郷家はこの城を拠点として都城盆地をほぼ統一し、元和元年(1615)の一国一城令によって廃城になるまで居城として使用されました。当市の名はこの城の名称に由来するものです。

江戸時代になっても鹿児島藩の私領として都城島津家が治め、約4万石という藩内最大の私領として繁栄し、数々の歴史や文化、伝統を育んできました。

館内は都城市内の発掘調査で見つかった縄文・弥生時代などのさまざまな出土品、特攻遺品や空襲などの戦争資料がある「あゆみ」コーナー、農具や民具などの民俗資料など、都城の歴史や文化を伝えるさまざまな資料を展示しています。*定期的に、入替を行なっている為、展示内容はお問い合わせください。



発掘調査状況

歴史資料館 中庭

歴史資料館の中庭には、五輪塔や不動明王像などを展示しています。開館中は無料で散策できます。



中庭

都城のあゆみ

発掘調査による出土品、発掘現場から実際に剥ぎ取った、都城盆地で見られる火山灰層の転写、明治維新から西南戦争などの資料、各時代を分かりやすく解説した写真パネル・模型等によって、縄文時代早期から近現代にいたるまでの都城の歴史を紹介しています。



都城盆地の火山灰層



五十市式縄文土器



弥生時代の高坏 (今房遺跡)



← 須恵器



経筒 →



都城模型

媽祖は中国の南部地方で信仰されていました。千里眼と順風耳(千里耳)を従えて、航海の安全を守護すると言われています。

これは都城に形成された唐人町(現在の中町付近)に伝わったものです。



旧唐人町の媽姐像



しゅうもんてふだ
宗門手札

明治4年日向国に美々津県と都城県という二つの県が誕生しました。都城県は、大淀川以南の日向国と大隅国の六郡(始羅・肝属・曾於・大隅・菱刈・桑原郡)を県域としました。県庁は、現在の市役所庁舎付近に置られました。



都城県印

キリシタンと一向宗禁制による改め(取調べ)の際、その証明として各人に渡されたものです。